

知的財産フォーラム 富山

— 成長する企業のブランド戦略 —



立山連峰

参加料無料

日時

平成24年 **11月21日(水)**

午後1時30分～4時30分

会場

富山第一ホテル 3階天平の間

富山県富山市桜木町10-10 TEL 076-442-4411

※裏面に会場周辺地図を掲載してあります。



氷見の寒ぶり



おわら風の盆



ライトレール



雪の大谷

対象／県内企業、団体（農協、漁協、商工団体等）、市町村、一般（知財関係者、学生） 人数／100名

講演

企業の成長とブランド力

—ブランド戦略としてのネーミング— 講師／松田 雅章氏(弁理士)

■内容

売れ行きに大きな影響を与えたネーミング・ブランド戦略の実例を題材に、分かりやすく説明します。可能な限り「とやまブランド」にも触れます。

■プロフィール

1983年弁理士登録。1992年弁理士会商標委員会委員長。日本商標協会常任理事、研修委員長を歴任。



福光屋のブランド戦略

講師／松井 圭三氏(株式会社福光屋 常務取締役)

■内容

老舗の酒蔵として知られた福光屋が、醸造技術を生かした新規事業を如何に展開したか、新規事業におけるネーミングやブランド戦略をどのように進めたかについて。

■プロフィール

1984年(株)福光屋入社。1997年研究開発部長就任、以後健康美事業部長、生産本部部長歴任後、2012年常務取締役。



主催／日本弁理士会・日本弁理士会北陸支部

共催／富山県

後援／特許庁、中部経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部、国立大学法人富山大学、一般社団法人富山県発明協会、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、JA富山中央会、北日本新聞(予定)

知的財産フォーラム in 富山

開催主旨

ユーロ危機や円高による輸出環境の悪化、震災の影響等により、企業業績が低迷しています。しかし、そのような経済状況の中でも成長する企業は、強いブランド力を有している企業と言えます。

強いブランド力は、一朝一夕に得られるものではなく長期間の企業努力により育てられるものですが、より強力なブランドに育てるには戦略的な思考が求められます。

日本弁理士会では、各地域での知的財産の保護及び活用を支援し、地域の産業の発展に寄与するため、自治体や公的機関、商工業団体と連携しつつ地域知財支援活動に力を入れているところです。

富山県も、「TOYAMA」ブランドを育てて、県内産業の活性化につながるように、知的財産を活用した創造的な事業活動の促進と新しい産業及び雇用の創出を図り、元気ある富山の発展を目指しております。

本フォーラムは、日本弁理士会と富山県が協力して、知的財産の一つである商標に注目し、商標を効果的に利用した中小企業の戦略的な知財活用と経営戦略について、理解を深めていただくことを目的として開催いたします。

プログラム

受付	13:00~
開会挨拶	13:30~13:40
第1部	13:40~15:10 企業の成長とブランド力 —ブランド戦略としてのネーミング— 講師 松田 雅章 氏 (弁理士)
休憩	15:10~15:20
第2部	15:20~15:50 福光屋のブランド戦略 講師 松井 圭三 氏 (株式会社福光屋 常務取締役)
第3部	15:50~16:15 商品とそのブランド戦略 —福光屋の例を参考にして— 講師 松田 雅章 氏 (弁理士) 講師 松井 圭三 氏 (株式会社福光屋 常務取締役) 司会 廣澤 勲 氏 (日本弁理士会北陸支部副支部長)
閉会挨拶	16:25~16:30 日本弁理士会北陸支部支部長 宮田 信道

●お申込み方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、日本弁理士会までFAX又は郵送していただくか、同様の内容をメールでお送りください。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目4番2号

FAX:(03)3519-2706

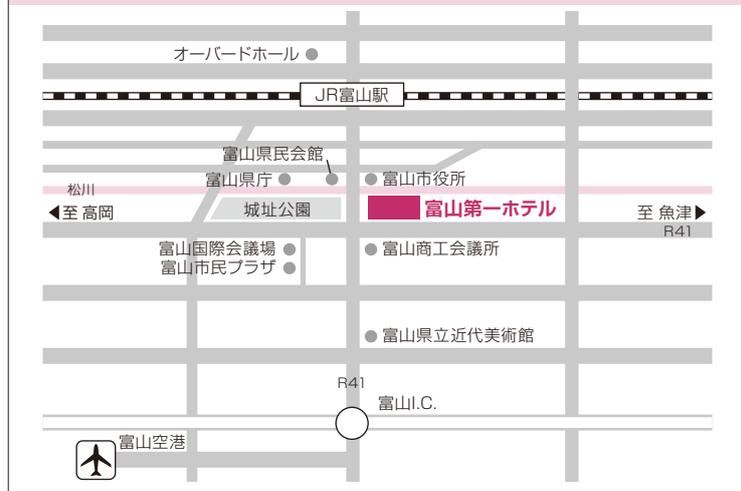
e-mail: shien@jpaa.or.jp

●締切り 平成24年11月20日(火)

●お問い合わせ先 電話 (03)3519-2709

知的財産フォーラム担当

会場周辺地図



日本弁理士会
知財支援フォーラム

知的財産フォーラム in 富山

参加申込書

氏名	フリガナ
住所	フリガナ
	〒 —
連絡先 (会社名の場合は 部署・役職等も ご記入下さい)	会社名
	TEL. () FAX. () E-mail :

※ご記入いただいた個人情報は、主催者が責任をもって管理し、本フォーラムに関する連絡以外の目的には使用いたしません。